

Gensaku Izumiya

泉谷玄作展

—風景と花火の軌跡—



平成25年

7 | 6 (土) — 9 | 1 (日)

平成25年度美郷町学友館第1回特別展

秋田県「美郷町学友館」

午前9時～午後7時 (入館は午後6時半まで)

開会中の休館日 (毎週月曜日、月曜日祝日は翌日火曜日)

入館料 ◎一般 300円 ◎高校生以下 無料

全倍、全紙、半切、四っ切、小品、オブジェなど100点以上。
泉谷玄作撮影「蔡國強の花火」の一部を世界初公開。

[主催] 美郷町教育委員会

美郷町学友館

検索

7月6日 オープニングイベント
15:00～16:00 ギャラリートーク
16:30～17:00 ミニコンサート
マンドリン:平 丈恵/ピアノ:能美 新

7月7日 13:00～ ギャラリートーク
14:00～15:00 写真教室 (要申込 先着30名)

7月13日 14:00～15:00 第一展示室「六郷の茶室」作品としての
「一茶庵」による茶会 (先着20名)
15:00～15:30 ミニコンサート
マンドリン:平 丈恵/ピアノ:斎藤 洋

8月10日 15:00～15:30 ミニコンサート
マンドリン:平 丈恵/ギター:神原順一

[泉谷玄作氏 在館予定日時]

7月6日 10:00～17:00 8月23日 13:00～14:00
7月7日 10:00～19:00 8月25日 10:00～11:00
7月13日 10:00～19:00

©Cai Guo-Qiang, Transient Rainbow, The Museum of Modern Art, New York, 2002.
Commissioned by MoMA. Photo by Gensaku Izumiya

Gensaku Izumiya

泉谷玄作 展

—風景と花火の軌跡—

光を表現する

日本では、「真」を「写す」と書いて「写真」であるが、写真の魅力は「写実性」にあるのだろうか？

目に映るものを克明に記録するための写真機器やメディアの発達が目覚ましく、もはや肉眼を超える記録能力を備えている。

特に近年、デジタルカメラの進歩はめまぐるしくその機能は携帯電話や携帯音楽プレイヤーなど様々な機器にも組み込まれ、「一億総カメラマン時

代」は無数の写真を生み出し、ネットや公募展に溢れている。

しかし、写真が急激な変化を遂げて写真家泉谷玄作は変わらない。真摯に被写体と向き合い、表現することで作品を生み出して行く。

写真家としての原点である「風景」とライフワークである「火と水」、穏やかな作品に込められた圧倒的な表現力を感じていただきたい。

2013.7 美郷町学友館

第一展示室

『六郷の茶室』から観る東北私景

水は生命の源。水は精神を宿し、その水を飲む身は美郷にいても美郷におらずその地を去っても美郷にいる。「一滴の水は川となり大海へそして空へ」水の流転は、東北から地球を廻る。

美郷町六郷は名水百選の地、茶の文化の残る「六郷の茶室」から観る心の情景を表現する。「六郷の茶室」作品としての「一茶庵」による茶会では、茶道によってその空間と呼応する。



©Gensaku Izumiya

第二展示室

『花火の日記』蔡國強からフジテレビ『ほこ×たて』までの記憶

モダンアート作家・蔡國強氏は2012年「第24回高松宮殿下記念世界文化賞(絵画部門)」を受賞した。私が2002年ニューヨークで「動く虹」の花火を撮影してから10年目の事だった。

今年フジテレビの人気番組「ほこ×たて」の「最強花火マニアVS最強花火職人対決」に私が出演した4月28日は、蔡國強氏がプロデュースした「いわき回廊美術館」の開館日でもあった。蔡氏の福島県「いわき」の友だちと旅をしたのも何かの縁だったと思う。



©Cai Guo-Qiang Transient Rainbow, The Museum of Modern Art, New York, 2002. Commissioned by MoMA. Photo by Gensaku Izumiya

特別展示室

『大曲の花火』私の大曲の花火50年間の青春

私の記憶によると50年もの間「大曲の花火」を観覧し続けたことになる。「大曲の花火」には幼い頃、青春時代、そして写真家として、いろいろな思い出が残っている。懐しい「大曲の花火」から近年の「大曲の花火」までの記録とともに私の記憶をたどる。



©Gensaku Izumiya

泉谷玄作 (いずみや げんさく)

1959年 秋田県美郷町に生まれる。
風景、コマーシャル、人物などを核に撮影し、火と水の撮影をライフワークとする。モダンアート作家・蔡國強(Cai Guo-Qiang)氏の依頼で、2002年MoMA主催の「動く虹」の花火や、2003年セントラルパーク150周年記念の「空の光輪」、2011年台湾独立100周年記念の花火など多数撮影。2010年NHK「視点・論点」、2013年フジテレビ「ほこ×たて」などのテレビに出演し、雑誌、カレンダー等で幅広く活躍する。公益社団法人日本写真家協会(J.P.S.)会員。
著書には『FLASH DANCE』、『秋田県 大曲の花火』(カッパンプラン)、『散華花火-DREAM』、『心の惑星-光の国の物語』(クレオ)、『日本列島 四季の花火百華』、『静岡県 全国花火名人選抜競技大会 ふくろい遠州の花火』(日本カメラ社)、『花火の図鑑』(ポプラ社)、『泉谷玄作 花火』(祥伝社)、『花火の大図鑑』(日本煙火協会/監修 PHP研究所)、『日本の花火はなぜ世界一なのか?』(講談社+α新書)がある。

個展

- 1993年「FLASH DANCE」秋田・光悦洞美術館
- 1997年「心の惑星-光の国の物語」
東京・新宿ペンタックスフォーラム
東京・錦糸町西武 スタジオ錦糸町にて
協力・PENTAX株式会社
横浜市たまプラーザ東急百貨店
秋田・ギャラリー杉
秋田・美郷町(旧仙南村)特設会場にて開催
- 1998年「火と水の物語」
秋田・美郷町(旧六郷町)学友館
- 1999年「秋田県 大曲の花火」
東京・新宿ニコンサロンにて開催
秋田・彩画堂ギャラリー特別企画展
岩手・平金商店パステル館 主催企画展
協賛・JR東日本盛岡支店
秋田・ジョイフルシティ大曲
- 2006年 静岡県 袋井市 全国花火名人選抜競技大会
「ふくろい遠州の花火」
静岡県・袋井市立図書館ギャラリー
- 2009年 サマージャンボ宝くじ発売記念パネル展
幻想のHANABI展
大阪・東京 宝くじドリーム館

【交通案内】



美郷町学友館 TEL.0187-84-4040

【住所】〒019-1404秋田県仙北郡美郷町六郷字安楽寺122番地

- 秋田自動車道 大曲ICから国道13号線を横手方面へ約20分
横手ICから国道13号線を大曲方面へ約30分
- JR大曲駅から約20分・JR飯詰駅から約10分
- 大曲バスターミナルから横手方面(六郷経由)行き
六郷上町下車 徒歩約10分